

藤河内溪谷周辺地域の水質—溪流と湧水—

藤河内の水質

藤河内周辺には年間3500ミリ以上の雨が降ります。この豊富な雨が深い森を育て、きよらかな溪流と美しい溪谷をつくりだしています。溪谷は今から1300万年ほど昔にできた硬い岩質の堆積岩と花崗岩類でできているため水に大変溶けにくく、そのため溪流の水質は岩石からの溶解成分が少なくほとんど雨水に近いものになっています。

溪流

この地域の溪流や湧水の特徴を見るために水質を棒グラフで示しました。

藤河内の溪流は北川水系桑原川の源流にあたり、溶解分量は1リットル中30ミリグラムできわめて少ないが、同じ源流でも山一つ隔てた木浦地区の大切川は約130ミリグラムと高い値を示しています。この原因は、大切川は石灰岩の中を通過してきた地下水が大量に流れ込み、水質が炭酸水素カルシウム型になっているためです。



立松谷溪流



図1. 溪流と湧水 ●溪流 ○湧水

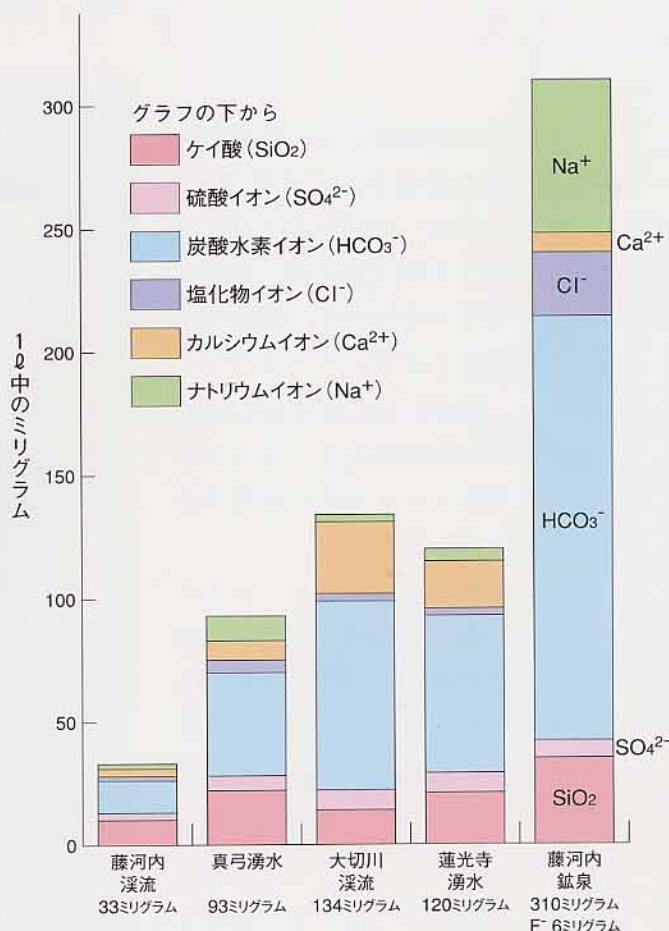


図2. 溪流と湧水の水質 (1ℓ中の化学成分量)

湧 水

蓮光寺湧水

木浦内蓮光寺境内に湧出している「豊の国名水」に指定されている清らかな水で、地域の人びとに飲料水として利用されています。水質は大切川と同じで、炭酸水素カルシウム型です。適当にカルシウムを含み健康に良い水といえます。水温は15～16℃で冷たくてさわやかです。



蓮光寺湧水

真弓湧水

鷹取屋山の真弓側の斜面に湧き出している水で、水量も多くとてもきれいな水です。適当にミネラルを含み飲料水として良好な水質で、水温は年間通して16～17℃です。



真弓湧水

特異な水・藤河内湧水

藤河内溪谷左岸の花崗岩の割れ目から水温23℃の湧水が滲み出しています。湧水量は僅かなものですが、これを「湯ーとぴあ」に引いて浴用に利用しています。水質は花崗岩地帯の地下水の特徴である炭酸水素ナトリウム（重曹）型で、肌にやわらかく石けんの泡立ちもよく浴用としてとても気持ちのよい水です。しかし、有害物質フッ素を1リットル中6ミリグラムも含んでいるので飲料水としては良くありません。（上水基準は0.8ミリグラム）

おいしい水

水のおいしさは、その中に含まれている化学成分の割合で決まります。カルシウム(Ca)は甘味を、カリウム(K)やケイ酸(SiO₂)はさわやかさを、また、マグネシウム(Mg)は苦味を硫酸イオン(SO₄)は渋味の元になります。これらの割合が $(K + Ca + SiO_2) / (Mg + SO_4) > 2$ であればおいしい水といえます。藤河内地域では蓮光寺湧水が8.3、真弓湧水が5.2ですから、ともに大変おいしい水です

清流を守ろう

水は生命の源泉であり、私たちの生活を支えています。藤河内の清流は豊富な雨と溪流に沿った深い森から生み出されますが溶解分量が極めて少ないために汚染物質が少し加わっただけで汚れてしまいます。清流を守るためには周囲の原生林を大切に、レジャー施設や民家などからの生活排水の流入に対し細心の注意が必要です。



藤河内の甌穴